

会議名	第3回学校運営協議会 議事録
場所	大阪府立佐野支援学校 視聴覚室
日時	令和6年2月19日(月) 10:00~12:00
テーマ	テーマ「ICTの利活用に関する取り組みについて」
	(1) 開会(校長挨拶)
	(2) 協議 ア 「ICTの利活用に関する取り組みについて」 まとめと今後について イ 学校評価アンケートについて 分析・考察とご助言 ウ 令和5年度学校経営計画について 自己評価をふまえた学校関係者評価及び 次年度の学校経営計画について
	(3) 意見交換・まとめ
	(4) 准校長あいさつ
出席者	後上鐵夫 委員(会長) 古谷秋雄 委員(副会長) 樋口 力 委員 清時 綾 委員 鶴 速 委員 田中由紀 委員 松浪校長 稲田准校長 久井教頭(司会) 岸田教頭 中村事務長 菰田首席 高橋首席 田之上首席 橋岡首席 尾藤小学部主事 今西中学部主事(記録) 山下高等部主事
概要	年間テーマに沿って、各協議内容について本校の教育活動を行っていく上での各立場からの意見交換を行った。
	協議内容及び報告について質問・意見
	○ICTの利活用が子どもたちにとってより良いものになるように検討してもらいたい。 ○学校評価アンケートより施設・設備について否定的な評価が20%をこえている。老朽化については、今後も要望をあげていくべき問題である。 ○施設設備面での否定的な評価が増えている。日々のこまめな点検など安全点検を増やし、子どもの事故やけがにつながることはないように注意してもらいたい。 ○交通の便が悪い上に駐車場がないことは、根本的な問題があり今後も課題である。 ○アンケート結果で肯定的な評価をした方がどのような工夫をしているのか具体的な方法を知ることで否定的な評価の解決策になるのではないか。 ○慣例として行ってきた業務や行事が現状にあっていないこともある。業務、行事の精選更新が必要であり、徹底的に改革していく意識が大切である。 ○支援教育の現場ではベテラン教員が減っている。互いに支えあうシステムづくり、場づくりが必要。子どもの変化を保護者と一緒に楽しめる雰囲気にしてもらいたい。
まとめ	細やかにアンケート結果を集計していて、成果・課題がわかりやすく次年度につなげていることができると感じる。コロナが5類に移行し交流が増えてきているが支援学校との交流機会が少ない。互いに協力し合い、助け合えるように地域として考えたい。 働き方改革が言われているがすべての業務を均等化することは現実的ではない。清掃など均等化できるものは均等化し、みんなで助け合いながらやりがいを持って良い方向に進めていってほしい。子どもたちには、社会にでたときに自立できるようにしっかりとした教育をお願いしたい。高等部卒業後のアフターケアも大切にしていってほしい。 来校時には児童生徒や教職員がよく挨拶をされ、明るい学校だと感じている。